

編 集 後 記

郷土の研究を種々の学問領域から、また総合的に行なう機関として、われわれの研究所は全国的にみてもユニークな存在であるといふことができる。

郷土生活の歴史を文献的にまた現状分析を通じて明らかにし、郷土の文学的遺産を実証的に跡づけ、あるいは社会的に、あるいは地理的に有形文化の考察に所員の活動がつづけられている。それらとともに、言語や心意現象についての研究もなされ、いずれも現実の調査を基礎にして探究が行なわれている。ここに収められた諸論文は、いずれも最近における郷土研究のあり方を示すとともに、異なる領域からそれぞれ郷土と真剣に取り組んだ

成果といえる。13輯を刊行するにあたり各界の批判を乞う次第である。

なお、本年度は、森靖雄所員が42年7月に大阪府立商工経済研究所へ転任された。われわれの研究所の発展に尽力された同氏に感謝し今後のご発展を祈りたい。(H)

なお、本輯執筆各位の現職は下記のとおりである。

歌川 学(所員。本学文学部教授)

千葉 徳爾(所員。本学文学部教授)

榊原淳一郎(所員。^{愛知}^{県立}豊橋商業高校教諭)

久曾神 昇(所長。本学文学部教授)

堀井令以知(所員。本学文学部教授)

愛知大学総合郷土研究所紀要 第13輯

昭和43年3月15日 発行

〔非 売 品〕

編輯者代表 久 曾 神 昇

豊橋市町畑町

印 刷 所 基督教印刷株式会社

豊橋市町畑町

発 行 所 愛知大学総合郷土研究所